

令和7年度
大磯町
万博国際交流プログラム
～みらいわくわく 大磯から世界へ羽ばたこう～



活動の記録

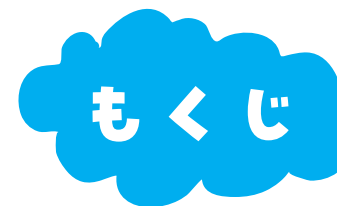
「令和7年度 大磯町 万博国際交流プログラム 活動の記録」
令和7年12月19日発行

令和7年度 大磯町 万博国際交流プログラム とは？

明治・近現代期に多くの政財界人が居を構え、日本、世界をリードした地であることから、こどもたちが国際感覚に触れ、刺激を得ることで、こどもたちの“芽生え”の“きっかけ”とすることを目的に、令和6年12月に「大磯こどもサミット」を開催し、500人を超える方々にご参加いただきました。楽しく学び、こどもたちが主体的に自身の意見を発信し、「今何をすべきか」を考える場となったこの取組みを一過性にせず、こどもたちの「知りたい・学びたい・触れ感じたい」という意識をさらに発展させ“継続”できる場をつくることを目的としたプログラムです。

活動スケジュール

・募集	令和7年	5月 2日(金)～23日(金)
・第1回 事前学習会		5月31日(土)@大磯町役場
・第2回 事前学習会		6月28日(土)@大磯町役場
・第3回 事前学習会		7月21日(月・祝)@大磯町役場
・大阪・関西万博訪問		7月22日(火)～24日(木)@大阪・夢洲
・第1回 事後学習会		8月20日(水)@大磯町役場
・第2回 事後学習会		10月 4日(土)@大磯町役場
・報告会		11月15日(土)@ノジマ大磯スクウェア



万博ってそもそも何？色々と学んでみよう！

事前学習会

p.04

いざ、万博へGo！大磯町から飛び出そう！

現地直前学習会～万博訪問

p.06

何を学び、何を得たのか？報告会に向けて

事後学習会

p.08

緊張したね！大磯町への報告会！

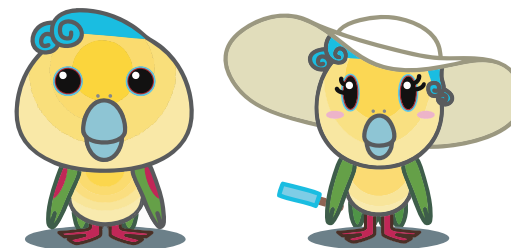
本プログラムの報告会

p.10

みんなの学び、参加してみてどうだった？

参加者の子どもたちからの“声”

p.14



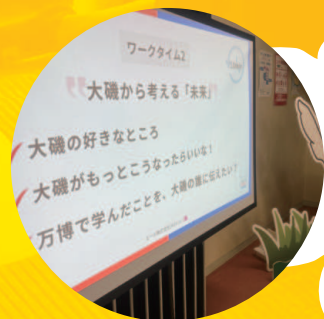
万博ってそもそも何？ 色々と学んでみよう！

事前学習会

【第1回:令和7年5月31日(土)／第2回:6月28日(土)／第3回:7月21日(月・祝)】

大磯町に住む、学校も学年も違う仲間との初めての出会いにドキドキワクワク。

5月の応募の時はみんな「万博に行ってみよう」という反面、「事前事後学習って何やるの？」や「報告会って？」など、分からないことが多かったはず。その中身は1回目の事前学習会で明らかに。まずはオリエンテーションということで、4つのチームに分かれたね。



顔合わせをしながら、チームごとの学習テーマや万博で知りたいこと、報告会に向けて何を調べていくか？大磯町にとって役立つことは何か？などを話し合ったり、講演会で「こどもの権利」について聞いたりしたね。まだまだぎこちない雰囲気や不安な顔が多かったけど、万博訪問の案内を聞いて少しだけワクワクしてたような…学習会の最後にはいつもホームワークが出ることに戸惑った様子も…そういえばグループLINEを設定したのはこの後。



2回目からは、本格的に議論開始。

各チームの学習テーマを深掘りしたり、万博で行きたいパビリオンなどを出し合いながら少しずつチームらしくなっていったね。

3回目の事前学習は万博に行く前日。

万博の訪問計画についてみんなで確認したり、一緒に万博に行くウガンダ人のディクソンさんとマーガレットさんを加えて、大磯町とウガンダの関係やウガンダの現状、将来に向けて何ができるのか？などを話したね。やっぱり実際にウガンダの人と話をすると実感が違ったね！



大磯町では、将来を担う子どもたちに「世界」と「学び」について深く考えてもらうため、ウガンダからディクソンさん、マーガレットさんと呼んで、みんなにウガンダのことを教えてもらったんだよ



待ちに待った万博へGo!!

大磯町観光案内所に集合して大磯駅から新大阪駅に向かったね。新幹線の車内はちょっとした修学旅行か部活の遠征のような雰囲気。仲良くなるには旅が一番だね!!



そして新大阪駅に到着! いや～事前に聞いてはいたけど暑かったねえ～。
貸し切りバスに乗ってホテルまで。



いざ、万 大磯町から

現地直前学習会～万博訪問
[令和7年7月22(火)～24(木)]

いよいよ万博訪問を翌日に控えホテルで行った直前学習会。予約がとれたパビリオンはブルーオーシャン・ドームだけだったけど、予約なしで行けるパビリオンを決めたり、広い会場を1日で効率良く回るための最後の確認。ディクソンさんやマーガレットさんには、ウガンダで使われている実際のトイレ設備を紹介してもらったり、工芸品を見せてもらったりしたね。そういえば、この時の様子はWeb配信していたんだよね。おうちの人たちにも見てもらえて良かったあ。



次の日、いざ万博会場へ。

ブルーオーシャン・ドームとウガンダブースが入ったcommons Aはみんなが共通して行った場所だけど、各チームともにエネルギーで効率的に回ることができたみたいだね。暑さと混雑を考えたら上出来だよ。



博へGo! 飛び出そう!



お土産もたくさん
買えたね!
(買いすぎちゃったかな)

各チームみんなで話し合って決めたパビリオンを回ったね。チームそれぞれの感性で万博を見たり感じたりできたかな。ちなみにAチームは町長と一緒に回ったんだよね。

各チームが
訪問した
パビリオン

Aチーム: ロボット&モビリティステーション、フランスパビリオン、UAEパビリオン、国際機関パビリオン
Bチーム: トルコパビリオン、サウジアラビアパビリオン、スペインパビリオン、夜の地球 Earth at Night
Cチーム: フランスパビリオン、ベトナムパビリオン、PASONA NATUREVERSE
Dチーム: PASONA NATUREVERSE、フューチャーライフビレッジ、commons D



何を学び、何を得たのか？ 報告会に向けて

事後学習会

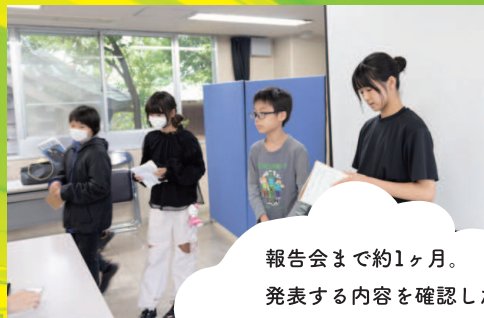
【第1回:令和7年8月20日(水)／第2回:10月4日(土)】



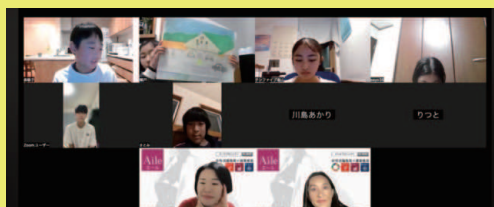
万博から帰ってから、夏休みのあいだに事後学習会をやったね。万博で気付いたこと、報告会に向けて発表したいことなどをそれぞれが書き出したり、万博で撮った写真を共有したり。



夏休みの宿題に習いごと、部活など忙しい中でも
おうちの人にも協力してもらって、報告会に向けて良い流れができたね！



報告会まで約1ヶ月。
発表する内容を確認した最後の学習会だったね。
報告会本番をイメージして各チームごとにみんなの前で
発表の練習をしたけど、正直なところ、この時はちょっと
心配じゃなかった？



最後の1ヶ月の追い込みはすごかった！それぞれが家で作業したのはもちろんだけど、
その間オンラインやLINEで連絡を取って助け合ったり、Zoomでリハーサルをしたり、
さらにはおうちの人にも協力してもらったりして、学校の用事があったり、体調が悪かったり
と色々あったけど、みんなの素晴らしい頑張りに感動したっ！
LINEで報告会全場の写真を送ったりコメントしたりしてちょっとプレッシャーが
ちゃったかな？



緊張したね！ 大磯町への報告会！

本プログラムの報告会 [令和7年11月15日(土)]

緊張の報告会！ 約半年間の集大成！

会場の広さやお客さんの数は事前にもみなにお知らせしてたけど、いざ客席が埋まった状況を見たら実は大人の方が緊張してたよ。

なんてたって、当日は最大260人のお客さんが集まったんだから。

町長のごあいさつや地元キッズダンスチームによるパフォーマンス、お笑い芸人ナインボールの楽しい司会進行で盛り上がったところで、いよいよ発表のときが…。



大磯町の魅力的な文化や自然をどうやって守っていくか？ それらを多くの人に知ってもらう活動を、大磯町の人々が自ら行っている活動と提案しました。インターネットでの動画配信、誰でも楽しめるイベント開催などのアイデアも披露して、「大磯町の人で、協力して町を守ってゆくandつくってゆく」を提言！

Aチーム

テーマ：大人になってわくわくできる社会とは？

メンバー あかりさん、かいさん、のいさん、りつとさん、こうせいさん、れいりさん



みんなが訪れたパビリオンごとに担当を決めて、それぞれが大磯町に活かせること、考えられることを挙げて身近な問題としてリレー形式で順番に発表しました。最後には、学校も年齢も住む地域も違うメンバー同士の絆を感動アピール！

Bチーム

テーマ：世界の文化、伝統、取り組みを知り大磯町発展のヒントを伝えよう

メンバー あきらさん、らんさん、ななみさん、ゆいさん、だいちゃん



こどもたちによる「世界共通の課題を解決するアイデア」を発表しました。万博で知った世界の現状や課題解決につながる技術などを通して、医療や森林伐採、伝統文化といった幅広いテーマを取り上げました。オリジナルクイズで会場を爆笑の渦に！

Cチーム

テーマ：子どもたちが楽しく遊んだり学んだりできる施設の提案
＜子どもにも地球にもやさしい施設作り＞

メンバー かんたろうさん、ゆいまるさん、すいさん、あきとさん、じゅんさん



Dチームの特徴は、何といっても「人形劇」(ペープサート)での発表。かつて大磯町に住んでいた夫婦が、町を離れた理由そして戻ってきた理由を通して、大磯町や世界が抱えている問題を提起し、その解決の道筋を提案しました。脚本やイラスト、そして高い演技力でその思いをエモーショナルに伝えることに大成功！

Dチーム

テーマ：科学と伝統で大磯にぎやか物語 (ペープサート)

メンバー ゆめこさん、あんなさん、けんたさん、あんじさん、あやのさん

みんなの学び、 参加してみてもうだった？

参加したこどもたちからの“声”

「自分の視野をもっと広げたいので、これからも、万博国際交流プログラムみたいな交流イベントをつくってほしい。」

「国際交流プログラムを通して、あたり前の違いについてたくさん知ることができた！！」

「自分の意見を友だちに伝えたり、たくさんの人の前で発表する場を今後もつくって欲しい。」

「これからもこのような交流イベントがあったら参加したい。」

「これからも、このような機会をたくさん増やしてほしい。」

「今後も国際交流をやる価値は非常にある！！」

またみんなで
会いたいね！

■主催

大磯町 子育て支援課

■協力団体

- ・公益財団法人 世界こども財団
- ・神奈川県立 大磯高等学校
- ・大磯ロータリークラブ
- ・特定非営利活動法人 コンフロントワールド
- ・株式会社 旭広告社
- ・エール株式会社
- ・名鉄観光サービス株式会社 小田原支店

■参加者

あかりさん、權さん、のいさん、理朝さん、暁生さん、伶湊さん
彰良さん、藍さん、七海さん、唯さん、大智さん
葉太郎さん、惟円さん、珠衣さん、秋士さん、准さん
ゆめこさん、杏奈さん、健太さん、杏詩さん、彩乃さん